Canon

Mk2000

CABLE ID PRINTER

Application Software for Mk2000

取扱説明書

CANON FINETECH INC.

4Y1-8458-030

■ 商標について

- Canon、Canon ロゴは、キヤノン株式会社の商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows NT®、Windows Vista®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

■ 略称について

本書では下記のように省略して記載している場合がございます。ご了承ください。

- Microsoft® Windows Vista® を Windows Vista と表記しています。
- Microsoft® Windows® XP を Windows XP と表記しています。
- Microsoft® Windows® 2000 を Windows 2000 と表記しています。
- Microsoft® Windows® Millennium Edition を Windows Me と表記しています。
- Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0 を Windows NT 4.0 と表記しています。
- Microsoft® Windows® 98 を Windows 98 と表記しています。

****

ソフトウェア使用許諾契約書

****

ご注意：下記の使用許諾契約書（以下本契約書と言います。）をよくお読みください。
これは、お客様が、本契約書と共に提供される当該キヤノンファインテック製のプリンタ（以下「プリンタ」と言います。）用ソフトウェア（本契約書以外の各マニュアル、印刷物等を含み、併せて以下「本ソフトウェア」と言います。）をご使用になるための、お客様とキヤノンファインテック株式会社（以下キヤノンファインテックと言います。）との間の契約書です。

お客様は、『同意』を示す行為、または「本ソフトウェア」の使用のいずれかをもって、本契約書に同意したことになります。お客様が本契約書に同意できない場合、「本ソフトウェア」を使用することはできません。

１．許諾

(1) キヤノンファインテックは、お客様が「プリンタ」を利用する目的のために、「本ソフトウェア」１部を使用（本契約書においては、「本ソフトウェア」をコンピュータの記憶媒体上にインストールすること、またはコンピュータにおいて表示すること、アクセスすること、もしくは実行することのいずれも含むものとします。）するための非独占的権利をお客様に対して許諾します。

(2) お客様は、上記(1)に基づいて「本ソフトウェア」を使用するためのバックアップとして、「本ソフトウェア」を１部、複製することができます。

(3) 上記(1)および(2)に定める場合を除き、キヤノンファインテックまたはキヤノンファインテックのライセンサーのいかなる知的財産権も、明示たると黙示たるとを問わず、本契約書によってお客様に譲渡あるいは許諾されるものではありません。

２．制限

(1) お客様は、再使用許諾、譲渡、販売、頒布、リースもしくは貸与その他の方法により、第三者に「本ソフトウェア」を使用させることはできません。

(2) お客様は、「本ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、逆コンパイル、逆アセンブル、その他リバースエンジニアリング等することはできません。また第三者にこのような行為をさせてはなりません。

３．帰属

「本ソフトウェア」に係る権原および所有権は、その内容によりキヤノンファインテックまたはキヤノンファインテックのライセンサーに帰属します。

４．著作権表示

お客様は、「本ソフトウェア」に含まれるキヤノンファインテックまたはキヤノンファインテックのライセンサーの著作権表示を変更し、除去しもしくは削除してはなりません。

５．保証の否認・免責

(1) 「本ソフトウェア」は、『現状のまま』の状態で使用許諾されます。キヤノンファインテック、キヤノンファインテックの親会社であるキヤノン株式会社（以下キヤノンと言います。）、キヤノンの関連会社（キヤノンファインテックを除き、以下同じとします。）、それらの販売代理店または販売店のいずれも、「本ソフトウェア」に関して、商品性および特定の目的への適合性の保証を含め、いかなる保証も、明示たると黙示たるとを問わず一切しないものとします。

(2) キヤノンファインテック、キヤノン、キヤノンの関連会社、それらの販売代理店または販売店のいずれも、「本ソフトウェア」の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益およびその他の派生的または付随的な損害を含むがこれらに限定されない全ての損害を言います。）について、適用法で認められる限り、一切の責任を負わないものとします。たとえ、キヤノンファインテック、キヤノン、キヤノンの関連会社、それらの販売代理店または販売店がかかる損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。

(3) キヤノンファインテック、キヤノン、キヤノンの関連会社、それらの販売代理店または販売店のいずれも、「本ソフトウェア」、または「本ソフトウェア」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負わないものとします。

６．輸出

お客様は、日本国政府または関連する外国政府より必要な認可等を得ることなしに、「本ソフトウェア」の全部または一部を、直接または間接に輸出してはなりません。

７．契約期間

(1) 本契約書は、お客様が、『同意』を示す行為を行った時点、または「本ソフトウェア」を使用した時点で発効し、下記(2)または(3)により終了されるまで有効に存続します。

(2) お客様は、「本ソフトウェア」およびその複製物のすべてを廃棄および消去することにより、本契約書を終了させることができます。

(3) お客様が本契約書のいずれかの条項に違反した場合、本契約書は直ちに終了します。

(4) お客様は、上記(3)によって本契約書が終了した場合、速やかに、「本ソフトウェア」およびその複製物のすべてを廃棄または消去するものとします。

８．U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS NOTICE

The Software is a "commercial item," as that term is defined at 48 C.F.R. 2.101 (Oct 1995), consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212 (Sept 1995). Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4 (June 1995), all U.S. Government End Users shall acquire the Software with only those rights set forth herein. Manufacturer is CANON FINETECH INC./ 5540-11 Sakatemachi, Joso-shi, Ibaraki 303-8503, Japan

本条項中で使用される“the Software”とは、本契約書中で定義される「本ソフトウェア」を意味し、指し示すものとします。

９．分離可能性

本契約書のいずれかの条項またはその一部が法律により無効であると決定された場合でも、その他の条項は完全に有効に存続するものとします。

以　上

キヤノンファインテック株式会社

目　次

はじめに

本書では、「アプリケーションソフトウェア」と「プリンタドライバ」のインストール方法や「アプリケーションソフトウェア」の操作方法について説明しています。
内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

本書は、お客様が Windows の基本的な機能や操作方法について理解していることを前提として書かれています。「アプリケーションソフトウェア」をご使用になる前に、Windows の使いかたに慣れておくことをお勧めします。「ファイルを開く」などの Windows の操作や用語については Windows の説明書をご覧ください。

表記について

このマニュアルでは、以下の表記規則に従って記述しています。

表記	意味
［XXX（A)］－［YYY（B)］	XXX メニューの YYY を選択します。 キーボードの Alt キーを押しながら A キーを押し、続けて B キーを押すと同様の操作が行えます。
［X］ ［X］＋［Y］	キーボードの X キーを押します。 キーボードの X キーを押しながら Y キーを押します。
「XXXXX」	画面上のメッセージを「　」で囲んで示しています。
［XXX］ボタン	画面上のボタンを［　］で囲んで示しています。

必要なシステム環境

この「アプリケーションソフトウェア」を使うためには、以下のハードウエアとソフトウェアが必要です。

■ オペレーティングシステム

Windows 98 日本語版
Windows Me 日本語版
Windows NT 日本語版
Windows 2000 日本語版
Windows XP 日本語版
Windows Vista 日本語版

※ Windows Vista/XP/2000/NT 4.0にインストールする場合は、Administrator権限（コンピュータの管理者の権限）を持ったユーザでログオンする必要があります。

■ コンピュータ本体

上記オペレーティングシステムが動作可能なもの。

■ ディスプレイおよびビデオドライバ

解像度 800×600 ドット以上で 256 色以上表示可能なもの。
1024×768 ドット推奨。

※ 800×600ドットの場合は、ディスプレイのフォントサイズを「小さいフォント」に設定してください。

■ メモリ

オペレーティングシステムの推奨値以上のメモリ。

インストールする

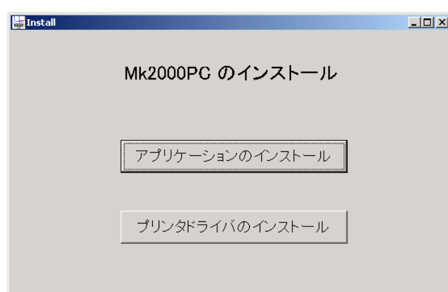
アプリケーションソフトウェアとプリンタドライバをインストールする

「アプリケーションソフトウェア」と「プリンタドライバ」をコンピュータにインストールします。
ここでは例として、Windows 2000 に「アプリケーションソフトウェア」と「プリンタドライバ」をインストールする手順について説明します。

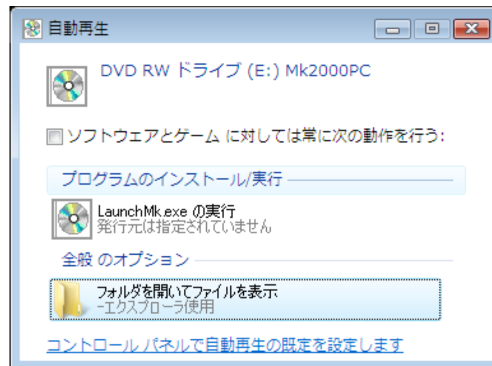
※ インストールを行う前に、ウィルス検知プログラムやシステムに常駐するプログラムがある場合は、あらかじめ終了しておいてください。
※ Windows Vista/XP/2000/NT 4.0 にインストールする場合は、Administrator 権限(コンピュータの管理者の権限)を持ったユーザでログオンする必要があります。
※ Windows Vista/ Windows XP では、複数のユーザが 1 台のコンピュータを同時に使用することができますが、設定を行うときは一人だけログオンした状態で行ってください。

1.「PC 接続キット Mk2000 専用」CD-ROM を用意します。
2. コンピュータの電源を入れ、Windows を起動します。
3.「PC 接続キット Mk2000 専用」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
   CD-ROM が自動で起動しない場合は、CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックします。
4.「アプリケーションソフトウェア」をインストールします。

   - Windows XP/2000/NT 4.0/Me/98 の場合
     インストールメニューが表示されます。
     [アプリケーションのインストール] ボタンをクリックします。



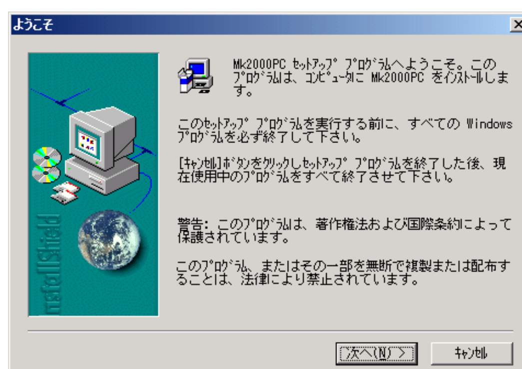
•Windows Vista の場合
「自動再生」画面が表示された場合は、［LaunchMk.exe の実行］をクリックします。



「ユーザアカウント制御」のダイアログボックスが表示されます。
［続行］ボタンをクリックします。

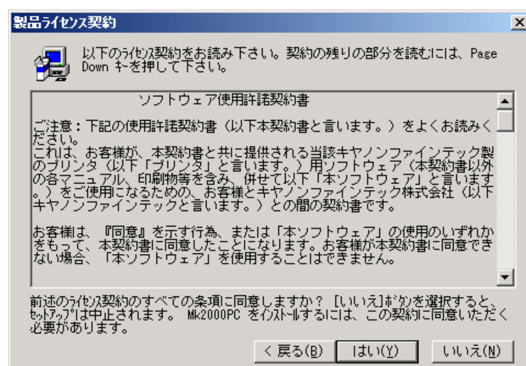


① ［次へ］ボタンをクリックします。

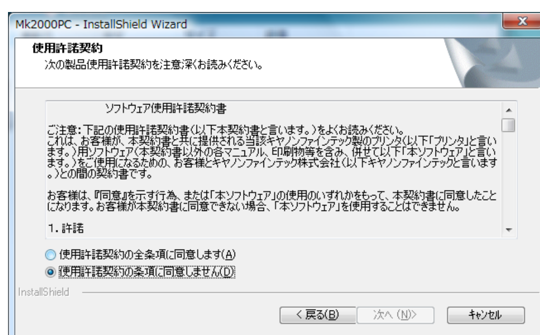


② 「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されます。

- Windows XP/2000/NT 4.0/Me/98 の場合
「ソフトウェア使用許諾契約書」の内容を読んで、［はい］ボタンをクリックします。

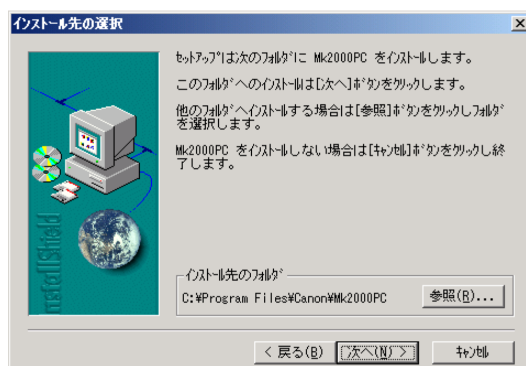


- Windows Vista の場合
「ソフトウェア使用許諾契約書」の内容を読んで、「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。



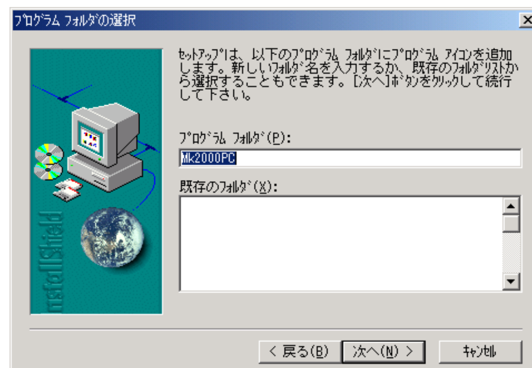
③ インストール先のフォルダを選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

- 「インストール先のフォルダ」に表示されているフォルダにインストールするときは、［次へ］ボタンをクリックします。
- インストール先を変更するときは、［参照］ボタンまたは［変更］ボタンをクリックし、インストールするフォルダを指定します。



④ 画面の指示にしたがって操作します。

•Windows XP/2000/NT 4.0/Me/98 の場合
「プログラムフォルダ名の選択」画面が表示されます。
［次へ］ボタンをクリックします。



•Windows Vista の場合
「インストール準備の完了」画面が表示されます。
［インストール］ボタンをクリックします。



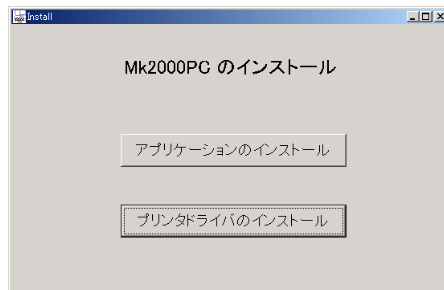
⑤ ［完了］ボタンをクリックします。



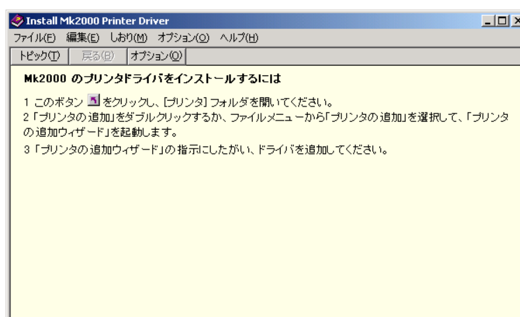
以上で、「アプリケーションソフトウェア」のインストールは終了です。
続いて「プリンタドライバ」のインストールを行います。

５.「プリンタドライバ」をインストールします。

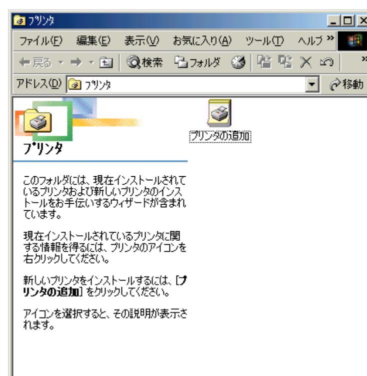
●Windows XP/2000/NT 4.0/Me/98 の場合
インストールメニューの［プリンタドライバのインストール］ボタンをクリックします。



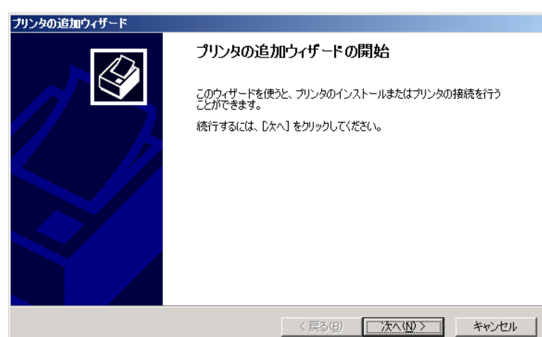
「Install Mk2000 Printer Driver」画面上の をクリックし、「プリンタ」フォルダを開きます。



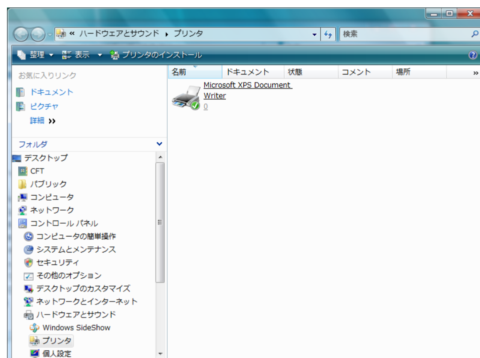
［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。



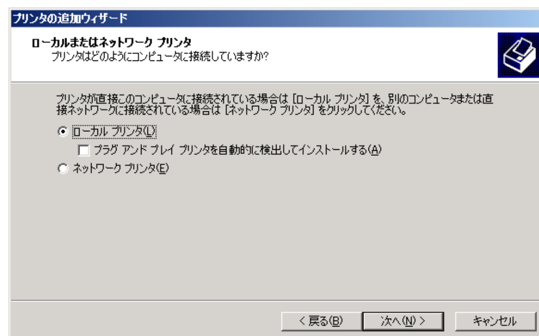
「プリンタ追加のウィザード」が始まります。
［次へ］ボタンをクリックします。



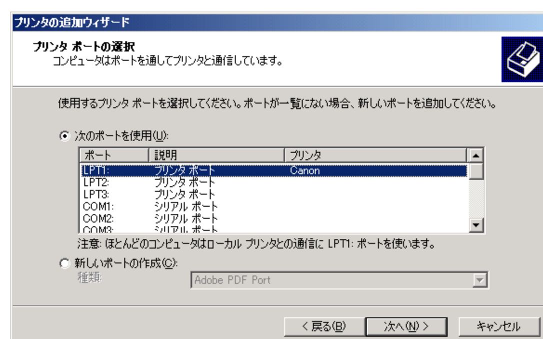
•Windows Vista の場合
「プリンタ」フォルダが表示されます。
［プリンタのインストール］ボタンをクリックします。



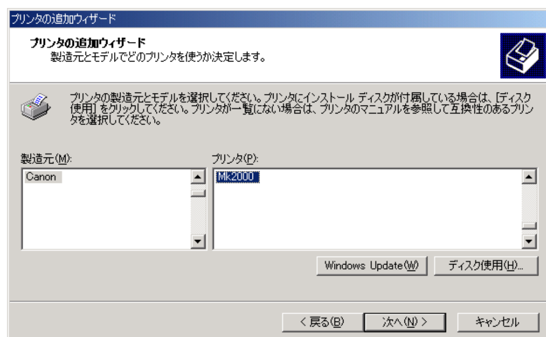
① 「ローカルプリンタ」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。



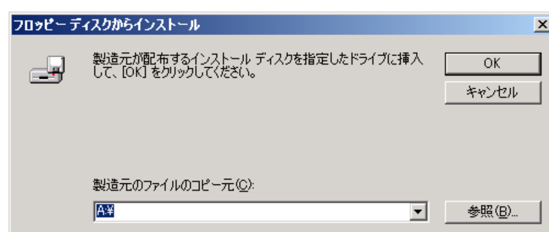
② 使用するプリンタポートを選択し、［次へ］ボタンをクリックします。



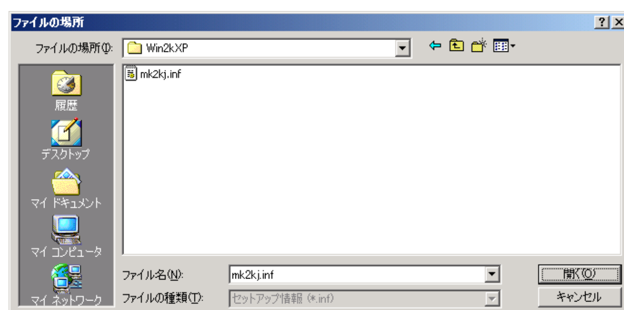
③［ディスク使用］ボタンをクリックします。



④［参照］ボタンをクリックします。



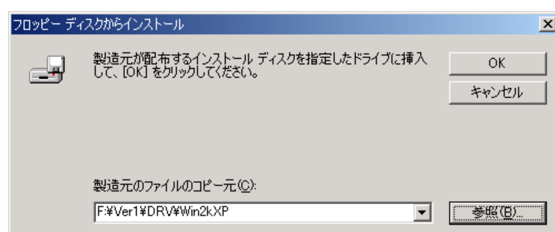
CD-ROM ドライブ内の［DRV］フォルダの［Win2kxp］フォルダ内の［mk2kj.inf］ファイルを選択して、［開く］ボタンをクリックします。



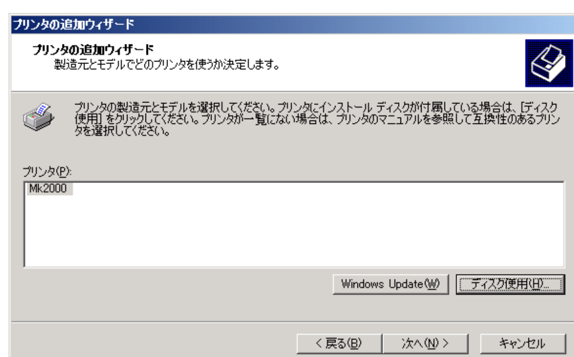
※ 選択するファイルは、お使いの OS によって異なります。

- Windows Me/98 をお使いの場合は［Win9xMe］フォルダ内の［mk9xj.inf］を選択します。
- Windows XP/2000 をお使いの場合は［Win2kxp］フォルダ内の［mk2kj.inf］を選択します。
- Windows NT 4.0 をお使いの場合は［WinNT40］フォルダ内の［mk40j.inf］を選択します。
- Windows Vista をお使いの場合は［WinVista］フォルダ内の［mkvtj.inf］を選択します。

⑤ ［OK］ボタンをクリックします。



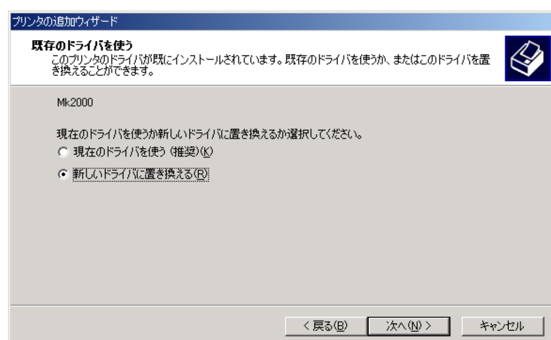
⑥ 「Mk2000」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。



※ すでにプリンタドライバがインストールされている場合は、次のような画面が表示されます。

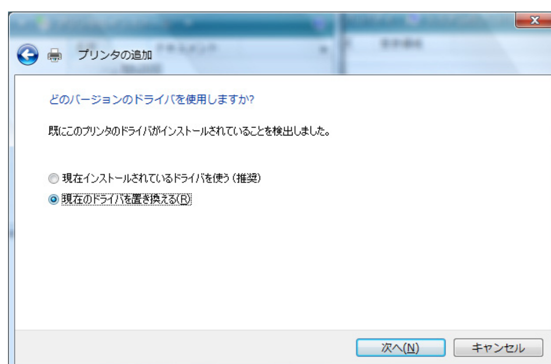
- Windows XP/2000/NT 4.0/Me/98 の場合

「新しいドライバに置き換える」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

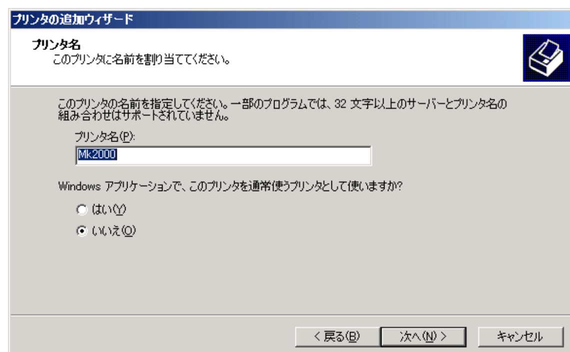


- Windows Vista の場合

「現在のドライバに置き換える」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



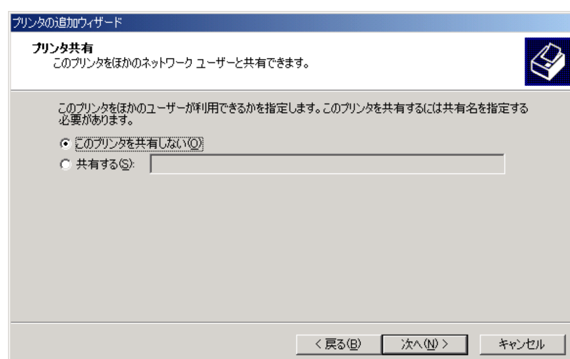
⑦ ［次へ］ボタンをクリックします。



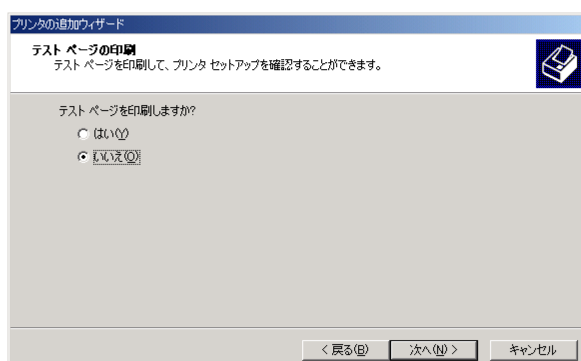
※ ここで、プリンタ名は変更しないでください。変更すると、印刷データがプリンタに正しく送信されず、印刷できなくなってしまいます。また、インストール後もプリンタ名を変更しないでください。

⑧ 画面の指示にしたがって操作します。

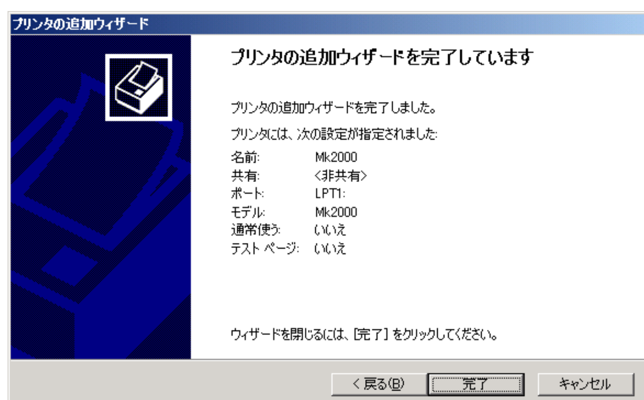
「プリンタの共有」画面では「このプリンタを共有しない」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



「テストページの印刷」画面では「いいえ」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



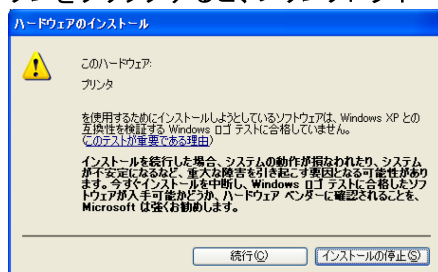
［完了］ボタンをクリックします。



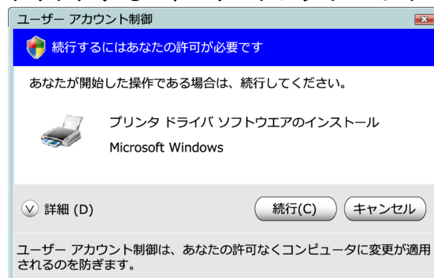
※　Windows　2000 の場合
「デジタル署名が見つかりませんでした」というメッセージが表示された場合は、[はい]ボタンをクリックしてください。([いいえ]ボタンをクリックすると、プリンタドライバはインストールされません。)

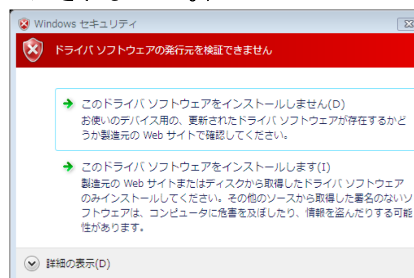


※　Windows　XP の場合
次の画面が表示された場合は、[続行]ボタンをクリックしてください。([インストールの停止]ボタンをクリックすると、プリンタドライバはインストールされません。)

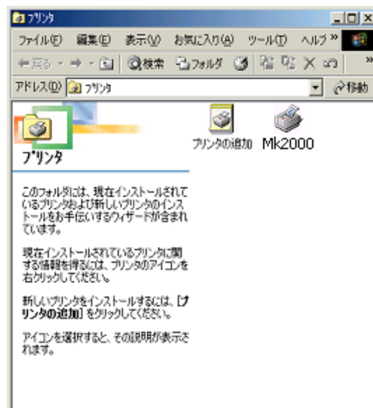


※　Windows　Vista の場合
次の画面が表示された場合は、[続行]ボタンおよび[このドライバソフトウェアをインストールします]をクリックしてください。([キャンセル]ボタンおよび[このドライバをインストールしません]をクリックすると、プリンタドライバはインストールされません。)





⑨　「プリンタ」フォルダに、Mk2000 のプリンタアイコンが追加されます。



以上で、「プリンタドライバ」のインストールは終了です。

６．コンピュータを再起動します。

後からプリンタドライバをインストールするには

後からプリンタドライバをインストールするときは、以下の手順で行います。プリンタドライバをインストールしたら、コンピュータを再起動してください。

•Windows 2000/NT 4.0/Me/98 の場合
Windows の［スタート］メニューボタンをクリックし、［設定］－［プリンタ］を選択します。　次に、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックして、［プリンタの追加ウィザード］を起動し、プリンタドライバのインストールを行います。

•Windows XP の場合
Windows の［スタート］メニューボタンをクリックし、［プリンタと FAX］－［プリンタの追加］を選択して、［プリンタの追加ウィザード］を起動し、プリンタドライバのインストールを行います。

•Windows Vista の場合
Windows の［スタート］メニューボタンをクリックし、［コントロールパネル］－［ハードウエアとサウンド］－［プリンタ］を選択します。次に、［プリンタのインストール］ボタンをクリックし、プリンタドライバのインストールを行います。

アプリケーションソフトウェアをアンインストールするには

•Windows 2000/NT 4.0/Me/98 の場合
Windows の［スタート］メニューボタンをクリックし、［設定］－［コントロールパネル］を選択して、［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。次に、一覧から［Mk2000PC］を選択し、［追加と削除］ボタンをクリックします。確認のメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。

•Windows XP の場合
Windows の［スタート］メニューボタンをクリックし、［コントロールパネル］－［プログラムの追加と削除］を選択します。次に、現在インストールされているプログラム］の一覧から［Mk2000PC］を選択し、［変更と削除］ボタンをクリックします。確認のメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。

•Windows Vista の場合
Windows の［スタート］メニューボタンをクリックし、［コントロールパネル］－［プログラム］－［プログラムのアンインストール］を選択します。次に、一覧から［Mk2000PC］を選択します。確認のメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。(「ユーザアカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］ボタンをクリックしてください。)

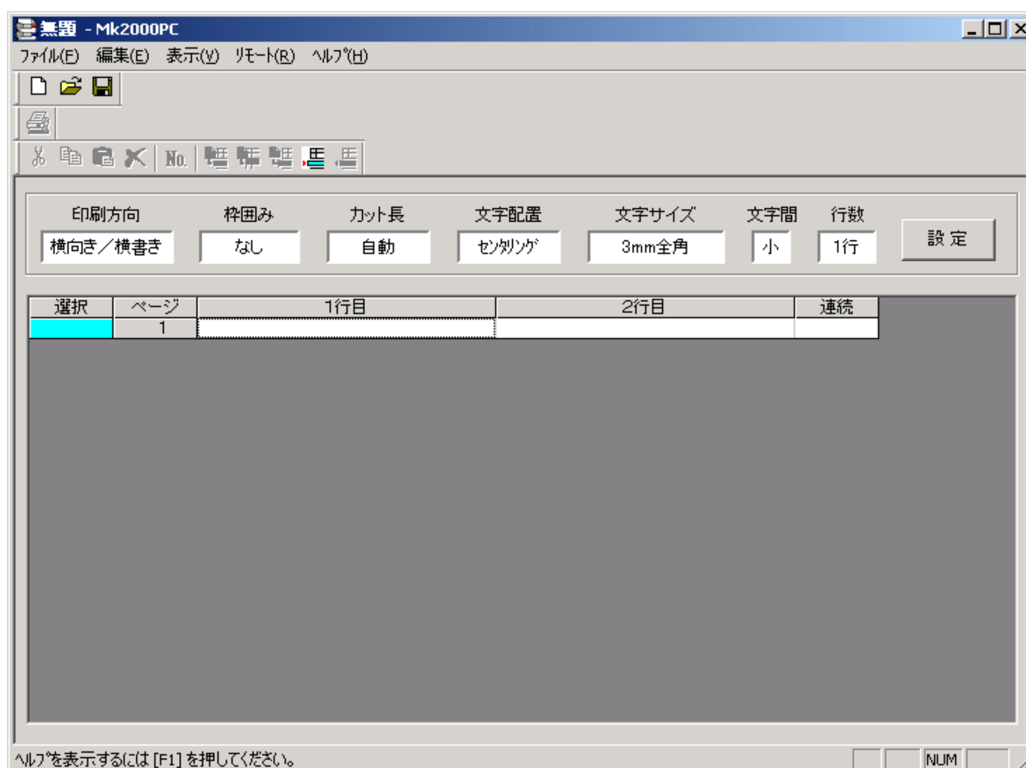
アプリケーションソフトウェアを起動する

起動する

「アプリケーションソフトウェア」を起動するには、次の方法があります。

- デスクトップの［Mk2000PC］ショートカットアイコンをダブルクリックする。
- Windows の［スタート］メニューボタンをクリックし、［すべてのプログラム］または［プログラム］－［Mk2000PC］－［Mk2000PC］を選択する。

「アプリケーションソフトウェア」が起動すると、メイン画面が表示されます。



終了する

「アプリケーションソフトウェア」を終了するには、次の方法があります。

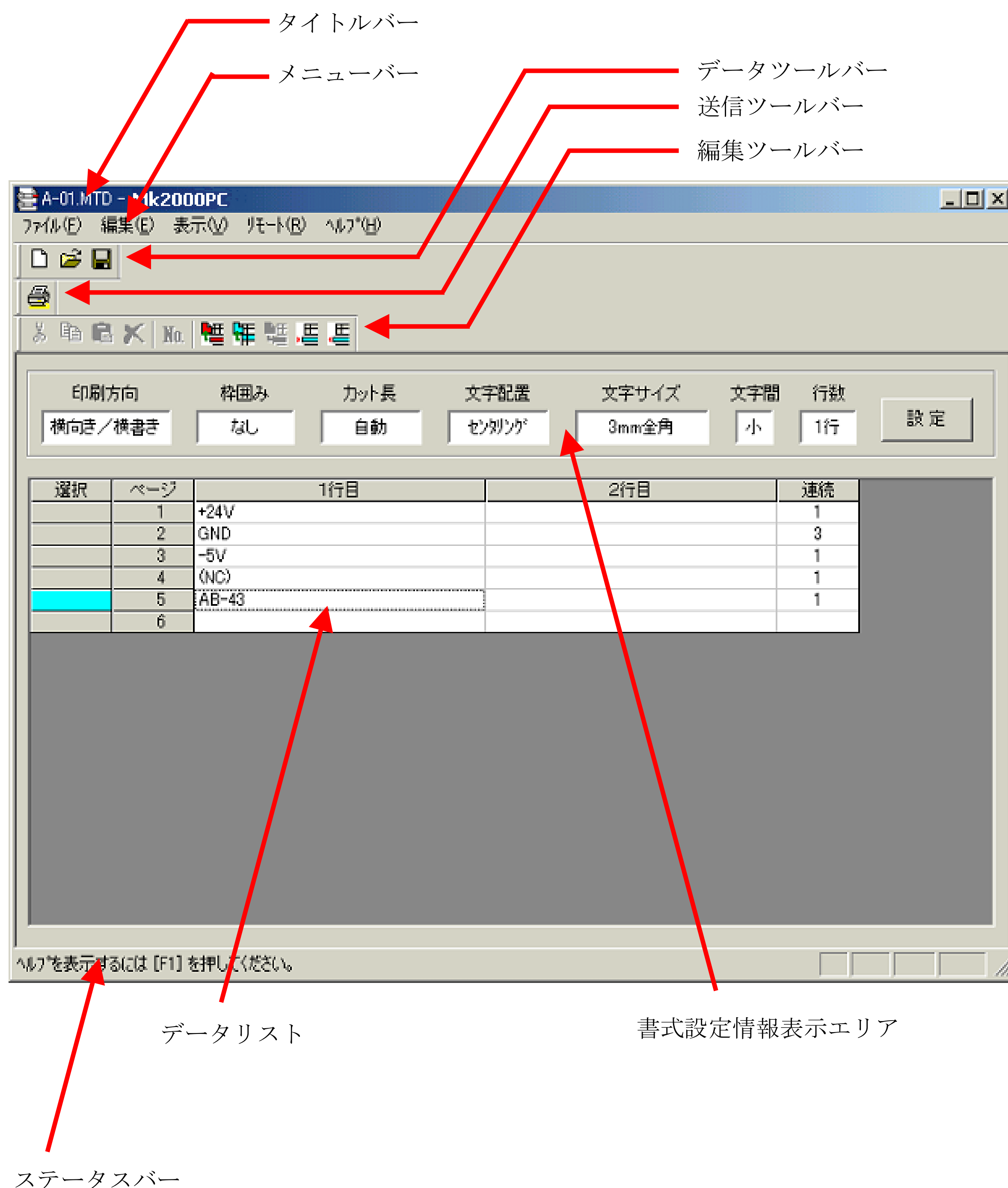
- ［ファイル（F）］－［終了（X）］を選択する。
- メイン画面の右上にある×をクリックする。

画面の構成

「アプリケーションソフトウェア」の画面構成とツールボタンやメニューの詳細などについて説明します。

メイン画面

「アプリケーションソフトウェア」を起動すると表示される画面です。



ツールバー

ツールバーには、以下のツールボタンがあります。

ツールボタン	説明
	新規にデータリストを作成します。 ［ファイル］メニューの［新規作成］を選択しても、同様の操作が行えます。 **※ 現在編集中のデータがあるときは、データを保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。**
	既存のファイルや CSV 形式のファイルを開いて、データを読み込みます。 ［ファイル］メニューの［開く］を選択しても、同様の操作が行えます。 **※ 現在編集中のデータがあるときは、データを保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。** **※ 旧バージョン形式の既存ファイルを新バージョンのソフトウェアで開くと、新しい形式のファイルに置き換えたことをお知らせするメッセージが表示されることがあります。**
	現在編集しているデータを、既存のファイルに保存します。 ［ファイル］メニューの［上書き保存］を選択しても、同様の操作が行えます。
	現在編集しているデータを Mk2000 に送信します。 ［ファイル］メニューの［送信］を選択しても、同様の操作が行えます。
No.	連番の設定を行い、指定したページに連番のデータを追加します。 ［編集］メニューの［連番ページ作成］を選択しても、同様の操作が行えます。
	カーソルページの前に空のページを挿入します。 ［編集］メニューの［ページ挿入］を選択しても、同様の操作が行えます。
	カーソルページを削除します。 ［編集］メニューの［ページ削除］を選択しても、同様の操作が行えます。
	指定したページを切り取り、クリップボードに貼り付けます。 ［編集］メニューの［ページ切り取り］を選択しても、同様の操作が行えます。
	指定したページの内容を、クリップボードにコピーします。 ［編集］メニューの［ページコピー］を選択しても、同様の操作が行えます。
	クリップボードの内容を、指定したページの前に挿入して貼り付けます。 ［編集］メニューの［ページ挿入貼り付け］を選択しても、同様の操作が行えます。

書式設定情報表示エリア

ここには、選択されているページの書式情報が表示されます。
設定 ボタンをクリックすると、書式設定を変更できます。
設定方法については、「基本的な使いかた」の「書式を設定する」を参照してください。

データリスト

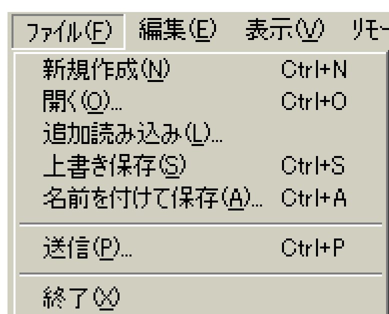
ここには、編集中のデータが一覧表示されます。

メニューバー

メニューバーには、以下のメニューがあります。

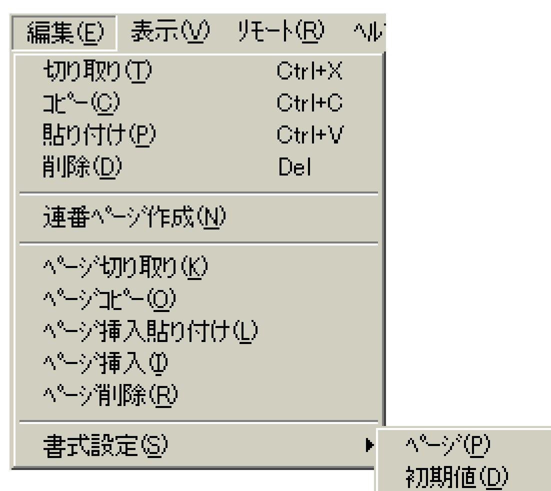
ファイル(F)　編集(E)　表示(V)　リモート(R)　ヘルプ(H)

■ ［ファイル］メニュー



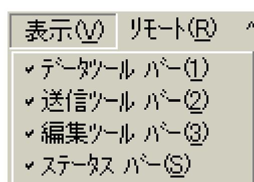
メニュー	説明
新規作成（N）	新規にデータリストを作成します。 ボタンをクリックしても、同様の操作が行えます。 **※　現在編集中のデータがあるときは、データを保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。**
開く（O）	既存のファイルや CSV 形式のファイルを開いて、データを読み込みます。 ボタンをクリックしても、同様の操作が行えます。 **※　現在編集中のデータがあるときは、データを保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。** ※旧バージョン形式の既存ファイルを新バージョンのソフトウェアで開くと、新しい形式のファイルに置き換えたことをお知らせするメッセージが表示されることがあります。
追加読み込み（L）	別のファイルを開いて、現在編集しているデータに追加して読み込みます。
上書き保存（S）	現在編集しているデータを、既存のファイルに保存します。 ボタンをクリックしても、同様の操作が行えます。
名前を付けて保存（A）	ファイルの名前を指定して、現在編集しているデータを保存します。
送信（P）	現在編集しているデータを Mk2000 プリンタに送信します。 ボタンをクリックしても、同様の操作が行えます。
終了（X）	「アプリケーションソフトウェア」を終了します。

■ ［編集］メニュー



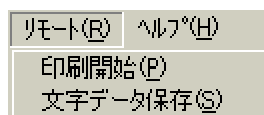
メニュー		説明
切り取り（T）		指定した内容を切り取りクリップボードに貼り付けます。
コピー（C）		指定した内容をクリップボードにコピーします。
貼り付け（P）		クリップボードの内容を貼り付けます。
削除（D）		指定した部分を削除します。
連番ページ作成（N）		連番の設定を行い、指定したページに連番のデータを追加します。 ボタンをクリックしても、同様の操作が行えます。
ページ切り取り（K）		指定したページを切り取り、クリップボードに貼り付けます。 ボタンをクリックしても、同様の操作が行えます。
ページコピー（O）		指定したページの内容を、クリップボードにコピーします。 ボタンをクリックしても、同様の操作が行えます。
ページ挿入貼り付け（L）		クリップボードの内容を指定ページの前に貼り付けします。 ボタンをクリックしても、同様の操作が行えます。
ページ挿入（I）		カーソルページの前に空ページを挿入します。 ボタンをクリックしても、同様の操作が行えます。
ページ削除（R）		カーソルページを削除します。 ボタンをクリックしても、同様の操作が行えます。
書式設定 (S)	ページ（P）	カーソルページの書式設定を変更します。
	初期値（D）	新規にデータリストを作成するときや、ページを挿入するときに使用する書式を設定します。

■ ［表示］メニュー



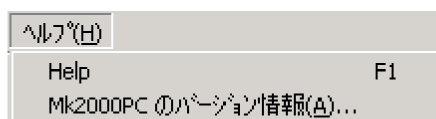
メニュー	説明
データツールバー（1）	データツールバーの表示／非表示を切り替えます。
送信ツールバー（2）	送信ツールバーの表示／非表示を切り替えます。
編集ツールバー（3）	編集ツールバーの表示／非表示を切り替えます。
ステータスバー（S）	ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。

■ ［リモート］メニュー



メニュー	説明
印刷開始（P）	印刷コマンドを Mk2000 プリンタに送信します。
文字データ保存（S）	保存コマンドを Mk2000 プリンタに送信します。

■ ［ヘルプ］メニュー



メニュー	説明
Help F1	「アプリケーションソフトウェア」のヘルプを表示します。
Mk2000PCのバージョン情報（A）	「アプリケーションソフトウェア」のバージョン情報を表示します。

ステータスバー

ステータスバーには、本アプリケーションソフトウェアの現在の状態が表示されます。

アプリケーションソフトウェアを操作する

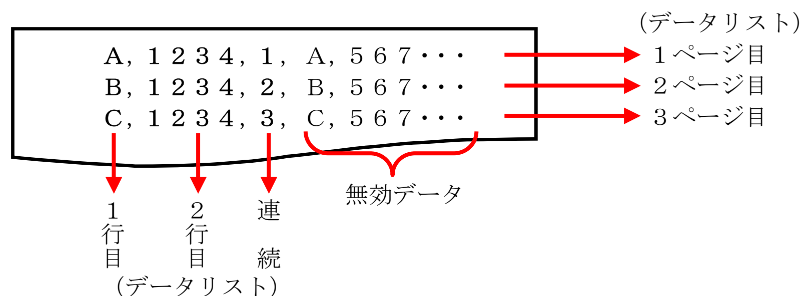
ファイルの種類について

「アプリケーションソフトウェア」では、以下のファイルをデータリストに読み込めます。

- オリジナルデータファイル（.mtd）
- CSV 形式のファイル（カンマで区切られたテキストファイル）
  以下の条件でデータリストに読み込まれます。
  - １列目：　１行目の文字データ
  - ２列目：　２行目の文字データ
  - ３列目：　連続印刷数

※　４列目以降のデータは無効になります。

（例１）ＣＳＶ形式のデータを「アプリケーションソフトウェア」に読み込む場合



（例２）例１の CSV ファイルをデータリストに読み込んだ場合

ページ	１行目	２行目	連続
1	A	１２３４	1
2	B	１２３４	2
3	C	１２３４	3

基本的な使いかた

ここでは、新規にデータリストを作成したり、既存のデータを読み込んでデータリストを作成し、Mk2000 プリンタに送信する手順について説明します。

新規にデータリストを作成する

1．［ファイル］メニューの［新規作成］を選択するか、ボタンをクリックします。
新規にデータリストを作成されます。
書式の設定は、［編集］メニューの［書式設定］－［初期値］で設定されている値が使用されます。

※ 現在編集中のデータがあるときは、データを保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。



［はい］：
編集中のデータを保存し、新規にデータリストを作成します。
ファイル名が付いているときは、上書きで保存されます。
ファイル名が付いていないときは、ファイル名を入力するダイアログボックスが表示されます。

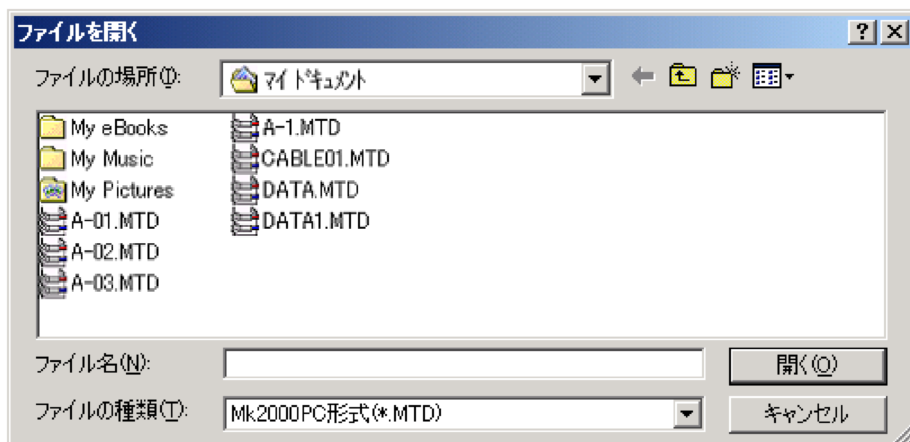
［いいえ］：
編集中のデータを保存しないで、新規にデータリストを作成します。

［キャンセル］：
［新規作成］を中止します。

既存のファイルを開く

既存のオリジナルデータファイル(.mtd) または CSV 形式のファイルをデータリストに読み込みできます。

1．［ファイル］メニューの［開く］を選択するか、ボタンをクリックします。
［ファイルを開く］ダイアログボックスが表示されます。



2．既存のオリジナルデータファイル(.mtd) または CSV 形式のファイルを選択し、［開く］ボタンをクリックします。
選択したファイルが読み込まれ、データリストに表示されます。
書式の設定は、［編集］メニューの［書式設定］－［初期値］で設定されている値が使用されます。

※ **現在編集中のデータがあるときは、データを保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。**



［はい］：
編集中のデータを保存し、新規にデータリストを作成します。
ファイル名が付いているときは、上書きで保存されます。ファイル名が付いていないときは、ファイル名を入力するダイアログボックスが表示されます。

［いいえ］：
編集中のデータを保存しないで、選択したファイルを読み込みます。

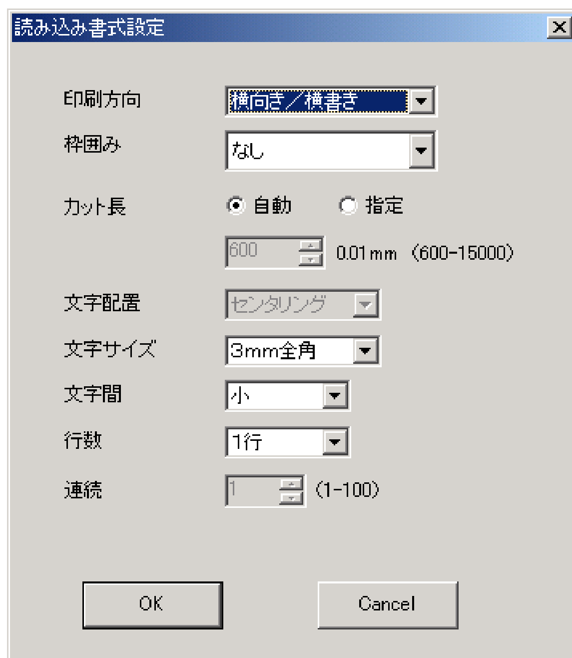
［キャンセル］：
ファイルの読み込みを中止します。

※ **旧バージョン形式の既存ファイルを新バージョンのソフトウェアで開くと、新しい形式のファイルに置き換えたことをお知らせするメッセージが表示されることがあります。**



［OK］：
旧バージョン形式の既存ファイルを、新しいバージョン形式に置き換えて開きます。

3．CSV ファイルを選択したときは、［書式設定］ダイアログボックスが表示されます。
各設定項目については、「書式を設定する」を参照してください。



※ ［行数］で[1 行]を選択したときは、CSV ファイルの 1 列目のデータは読み込まれますが、2 列目のデータは読み込まれません。

追加でデータを読み込む

編集中のデータの末尾に、指定したファイルの内容を追加で読み込むことができます。

1．［ファイル］メニューの［追加読み込み］を選択します。
［ファイルを開く］ダイアログボックスが表示されます。

2．追加で読み込むファイルを選択し、［開く］ボタンをクリックします。
データリストの末尾に選択したファイルのデータが追加されます。

データリストを保存する

■ 上書きで保存する

1．［ファイル］メニューの［上書き保存］を選択するか、ボタンをクリックします。
編集中のファイルに上書きで保存されます。

※ タイトルバーのファイル名が「無題」になっているときは、[名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示されます。保存方法は、「名前を付けて保存する」を参照してください。

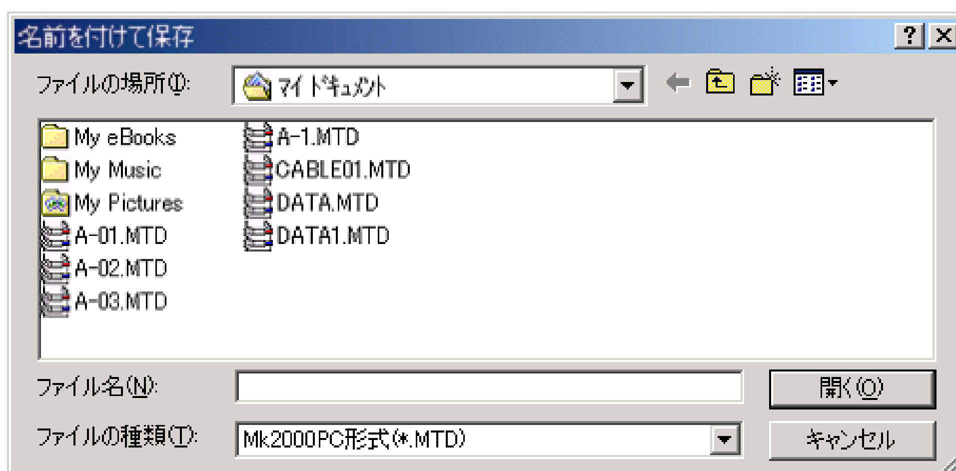
※ 旧バージョン形式の既存ファイルを開いたときは、上書き保存すると、新しいバージョン形式に変換されます。上書き保存したファイル（新バージョン形式の保存ファイル）を旧バージョンのソフトウェアで開くと、[カット長]の指定の長さが指定どおりでなくなりますので、ご注意ください（[カット長]の設定が[自動]に変換され印刷されます。）。

■ 名前を付けて保存する

1．［ファイル］メニューの［名前を付けて保存］を選択します。
［名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示されます。

2．ファイル名を入力し、ファイルの種類を指定して、［保存］ボタンをクリックします。
ファイルの種類は、次の中から指定します。また、ファイルの種類によって、保存される内容が異なります。

［オリジナルデータファイル（.mtd）］：
書式を含む設定値、データリストの内容が保存されます。
［CSV ファイル］：
データリストの 1 行目と 2 行目の文字データ、連続設定値が保存されます。



指定したファイル名でデータリストが保存されます。

※ すでに入力したファイル名と同じファイルが存在している場合は、上書き保存を確認するメッセージが表示されます。



［はい］：
ファイルが上書きで保存されます。
［いいえ］：
ファイルを保存しません。

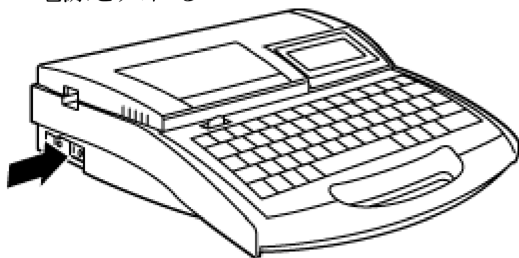
プリンタにデータを送信する

「アプリケーションソフトウェア」で作成したデータを Mk2000 プリンタに送信します。
また、送信したデータの保存や印刷に関する設定もここで行います。
プリンタにデータを送信するときは、ケーブルを接続しておきます。

1．プリンタとコンピュータがインタフェースケーブルで接続されていることを確認します。
接続されていない場合は「プリンタと接続する」をご覧ください。

2．プリンタの電源を入れ、ディスプレイが文字入力画面になったら、プリンタの［PC 接続］キーを押します。

電源を入れる



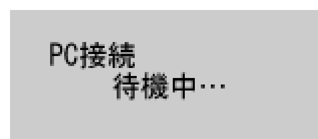
プリンタのディスプレイ表示



プリンタの文字入力画面



[PC 接続]キーを押す



プリンタはデータ受信可能になった

3．アプリケーションソフトウェアで、プリンタに送信するファイルを開きます。
編集中でない既存のデータを送信するときは「基本的な使いかた」の「既存のファイルを開く」を参考に、ファイルを開いてください。

4．［ファイル］メニューの［送信］を選択するか、ボタンをクリックします。
［送信］ダイアログボックスが表示されます。

5．各項目を設定します。

送信
送信方法
プリンタ内のデータと置き換える
プリンタ内のデータに追加する
保存
送信後プリンタ内に保存する
ファイル名　ファイル1
フォルダNo.　1
印刷
プリンタ内のデータを印刷する
印字媒体　チューブ
媒体サイズ　Φ3.0mm
印刷本数　1　(1-10)
OK　Cancel

［送信方法］
［プリンタ内のデータと置き換える］：
プリンタ内の文書エリアが削除され、文書エリアの先頭から送信したデータが保存されます。
［プリンタ内のデータに追加する］：
入力されている最終ページに送信したデータが追加されます。

［保存］
［送信後にプリンタ内に保存する］：
ここにチェックマークを付けると、データを送信した後、プリンタ内の文書エリアのデータが、指定したフォルダに指定したファイル名で保存エリアに保存されます。
チェックマークを外すと、データは保存されません。
［ファイル名］：
ファイル名を入力します。
入力ボックスをポイントすると、自動的に日本語入力（IME）が ON になります。

［フォルダ No.］：
データを保存するフォルダの番号（1～3）を選択します。
［印刷］
［プリンタ内のデータを印刷する］：
ここにチェックマークを付けると、データを送信した後、プリンタ内の文書エリアのデータが、指定した設定で印刷されます。
チェックマークを外すと、データは印刷されません。
［印字媒体］：
印刷する媒体を選択します。
チューブ、ラベル、4mm I.D. Strip、透明チューブ、ラップアラウンドテープ、記名板から選択してください。

［媒体サイズ］:

印刷する媒体の大きさを選択します。

選択範囲は、媒体によって異なります。

チューブ	：φ2.5、3.0、4.0、5.0、6.0、6.5mm
ラベル	：6.0、9.0、12.0mm
4mm I.D. Strip	：サイズは選択できません。
透明チューブ	：φ2.5、3.0、4.0、5.0、6.0、6.5mm
ラップアラウンドテープ	：サイズは選択できません。
記名板	：8.0、8.5、9.5、10.0mm

［印刷本数］:

印刷する本数を選択します。

1～10 本から選択してください。

5. ［OK］ボタンをクリックします。

書式の情報やデータリストの内容がプリンタに送信されます。

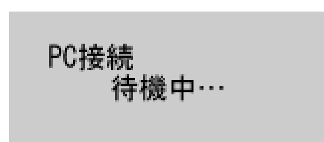
- データがない状態で［OK］ボタンをクリックすると、「文字データがありません。」というメッセージが表示されます。
- ［Cancel］ボタンをクリックすると、送信が中止され、ダイアログボックスが閉じます。

※ 実際の印刷では印刷品位を保つために、データ作成時の設定に関わらず、プリンタ本体で印字媒体に合わせて調整した設定値に変換されることがあります。詳細は巻末の「印刷時の設定について」をご覧ください。

※ 旧バージョン形式の既存ファイルを開いたときは、上書き保存すると、新しいバージョン形式に変換されます。上書き保存したファイル(新バージョン形式の保存ファイル)を旧バージョンのソフトウェアで開くと、[カット長]の指定の長さが指定どおりでなくなり、正しく印刷できなくなりますのでご注意ください([カット長]の設定が[自動]に変換され印刷されます)。
このとき、プリンタにデータを送信する前に、[カット長]の設定を確認してください。設定どおりでない場合は「書式を設定する」を参照し、[カット長]の設定を変更してください。

※ データ送信後にプリンタを使うときは、プリンタの受信可能状態を解除する必要があります。プリンタがデータ受信中でないことを確認し、［取消］キーを押して、データ受信可能状態を解除します。
文字入力画面になると、プリンタを操作できるようになります。

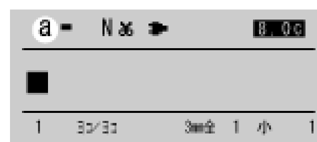
プリンタのディスプレイの表示



プリンタはデータ受信可能状態



[取消]キーを押す



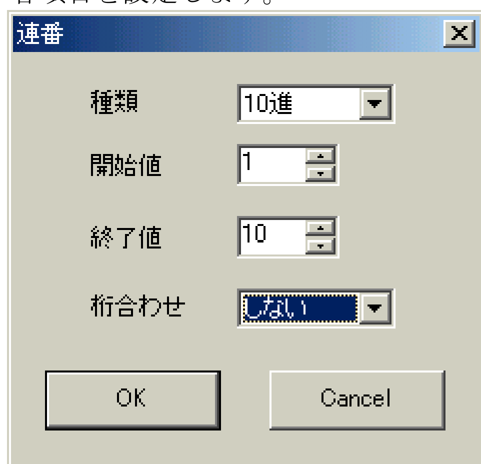
プリンタの文字入力画面
（データ受信可能状態の解除）

連番ページを作成する

ここでは、データリスト内のカレントページの文字データに連番文字を組み込み、設定値分のページを作成して、データリストに追加する手順について説明します。

1．［編集］メニューの［連番ページ作成］を選択するか、No.ボタンをクリックします。
　［連番］ダイアログボックスが表示されます。

2．各項目を設定します。



［種類］：　連番の種類を選択します。
10 進数、16 進数、A～Z、a～z から選択してください。
連番の範囲は、選択した種類に異なります。
10 進数 ‥‥‥ 0～99（1 文字しか入らない場合は 0～9）
16 進数 ‥‥‥ 0～FF（1 文字しか入らない場合は 0～F）
A～Z ‥‥‥‥ A～Z
a～z ‥‥‥‥ a～z

［開始値］、［終了値］：　連番の開始値と終了値を、それぞれ選択します。
10 進数、16 進数、A～Z、a～z から選択してください。
※ 終了値よりも開始値のほうが大きい場合は、降順となります。

［桁合わせ］：　桁合わせの方法を選択します。
しない、ゼロ、空白から選択してください。

※ 連番ページの作成時に、文字数の長さのチェックが行われます。 1 文字も入力できない場合は、「長さオーバー　入力データが設定長を超えています。」というメッセージが表示されます。

3．［OK］ボタンをクリックします。
カーソルページから連番ページの情報を取り込み、データリスト内に連番ページが作成されます。

- ［Cancel］ボタンをクリックすると、連番データの作成が中止され、ダイアログボックスが閉じます。

※ 連番ページを取り消す場合は、データリストで該当ページを選択し、［編集］メニューの［削除］を選択して、ページを削除してください。

書式を設定する

ここでは、書式の設定項目と設定手順について説明します。
書式には、ページごとの書式と、新規作成時やページ挿入時に使用される初期値の書式があります。
ここでは例として、ページごとの書式を設定する手順について説明しますが、初期値の設定も同様の操作で行えます。

※ ページごとの書式を変更する場合、データリストで異なる設定値のページを複数選択したときは、書式の設定は未設定状態（空白）になります。

1．データリストで、書式を変更するページを選択し、設定ボタンをクリックするか、［編集］メニューの［書式設定］－［ページ］を選択します。
初期値を設定するときは、［編集］メニューの［書式設定］－［初期値］を選択します。
［書式変更］ダイアログボックスまたは［初期値設定］ダイアログボックスが表示されます。

2. 各項目を設定します。

書式変更
印刷方向　横向き／横書き
枠囲み　なし
カット長　自動　指定
600　0.01mm　(600-15000)
文字配置　センタリング
文字サイズ　3mm全角
文字間　小
行数　1行
連続　1　(1-100)
OK　Cancel

［印刷方向］：
印刷の向きを選択します。
横向き/横書き、縦向き/縦書き、縦向き/横書きから選択してください。
インストール時の初期値は、［横向き/横書き］です。
［縦向き/横書き］は、文字が入力されていないときのみ有効になります。

［枠囲み］：
文字を囲む枠の種類を選択します。
なし、、、、、から選択してください。
インストール時の初期値は、［なし］です。

［カット長］：

チューブをカットする長さを選択します。
［指定］を選択したときは、6～150mm の範囲（入力値 600～15000）で長さを指定してください。

※ **指定した値の小数点以下は、プリンタ本体の仕様に合わせて 0.25mm 単位で調整し印刷されます。調整後のカット長は、次の手順 3 で[OK]をクリックして[書式変更]ダイアログを閉じた後、メイン画面の[カット長]で確認できます。**

文字サイズ、文字間、枠囲み、行数から文字列長を計算し、カット長内に収まるかチェックされます。
インストール時の初期値は、［自動］です。

［文字配置］：

文字を配置する方法を選択します。
センタリング、左 2mm、左 3mm、左 4mm、左 5mm から選択してください。
［カット長］で［自動］を選択した場合は、［センタリング］は選択できません。
［カット長］の［指定］で 8.5mm 未満（入力値 850 未満）の長さにした場合は、［センタリング］に固定されます。（設定不可）
インストール時の初期値は、［センタリング］です。

［文字サイズ］：

文字の大きさを選択します。
2mm 半角、2mm 全角、3mm 半角、3mm 全角、6mm 半角、6mm 全角から選択してください。
インストール時の初期値は、［3mm 全角］です。

［文字間］：

文字と文字の間隔を選択します。
小、中、大から選択してください。
インストール時の初期値は、［小］です。

［行数］：

行数を選択します。
1 行、2 行から選択してください。
［文字サイズ］で［6mm 半角］、［6mm 全角］を選択したときは、1 行になります。（行数の指定はできません。）
インストール時の初期値は、［1 行］です。

［連続印刷］：

印刷する本数を選択します。
1～100 本から選択してください。
インストール時の初期値は、［1］です。

３．［OK］ボタンをクリックします。

カット長のチェックが行われます。

- 指定した設定を適用できないページがある場合は、変更可能なページのみ設定を変更するかどうかのメッセージが表示されます。
- 変更可能なページが 1 ページもなかった場合は、「変更できません」というメッセージが表示されます。

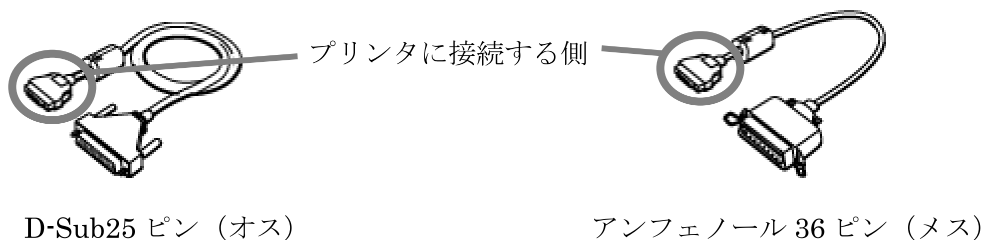
※ **実際の印刷では印刷品位を保つために、データ作成時の設定に関わらず、プリンタ本体で印字媒体に合わせて調整した設定値に変換されることがあります。詳細は巻末の「印刷時の設定について」をご覧ください。**

リモートで操作する

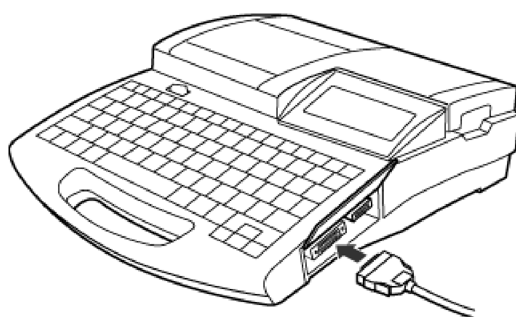
プリンタの印刷操作やプリンタのファイル機能の操作を行わずに、「アプリケーションソフトウェア」からリモートで、指定した媒体に印刷したり、プリンタ内の文書エリアのデータを保存することができます。
リモート操作するときは、コンピュータとプリンタを接続しておきます。

プリンタと接続する

リモート操作したり、プリンタにデータを送信したりするときは、プリンタとコンピュータを付属のインタフェースケーブルで接続します。
本オプションに同梱のケーブルは 2 種類ありますので用途に合わせてお使いください。



D-Sub25 ピン（オス）　　アンフェノール 36 ピン（メス）



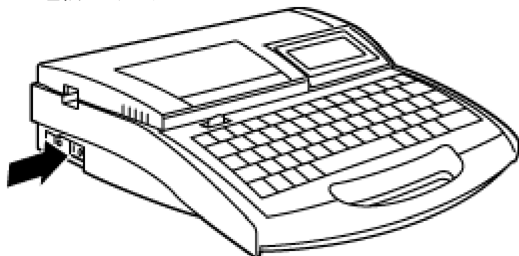
プリンタ側面のコネクタに差し込みます。

印刷を開始する

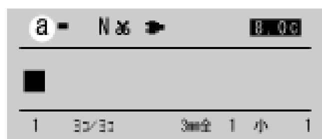
1．プリンタとコンピュータが、インタフェースケーブルで接続されていることを確認します。
接続されていない場合は「プリンタと接続する」をご覧ください。

2．プリンタの電源を入れ、ディスプレイが文字入力画面になったら、プリンタの［PC 接続］キーを押します。

電源を入れる

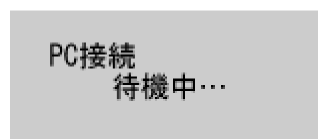


プリンタのディスプレイ表示





[PC 接続]キーを押す



プリンタの文字入力画面　　プリンタはデータ受信可能になった

3．アプリケーションソフトウェアで印刷するファイルを開きます。
編集中でない既存のデータを印刷するときは「基本的な使いかた」の「既存のファイルを開く」を参考に、ファイルを開いてください。

4．［リモート］メニューの［印刷開始］を選択します。
［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

5．各項目を設定します。

※「アプリケーションソフトウェア」の起動中は、前回設定した値がデフォルト値として表示されます。



［印字媒体］：

印刷する媒体を選択します。
チューブ、ラベル、4mm I.D. Strip、透明チューブ、ラップアラウンドテープ、記名板から選択してください。

［媒体サイズ］:

印刷する媒体の大きさを選択します。

選択範囲は、媒体によって異なります。

チューブ	：φ2.5、3.0、4.0、5.0、6.0、6.5mm
ラベル	：6.0、9.0、12.0mm
4mm I.D. Strip	：サイズは選択できません。
透明チューブ	：φ2.5、3.0、4.0、5.0、6.0、6.5mm
ラップアラウンドテープ	：サイズは選択できません。
記名板	：8.0、8.5、9.5、10.0mm

［印刷本数］:

印刷する本数を選択します。1～10 本から選択してください。

６．［OK］ボタンをクリックします。

設定値や指定した媒体情報と共に、印刷指令がプリンタに送信されます。

- ［Cancel］ボタンをクリックすると、印刷が中止され、メイン画面に戻ります。

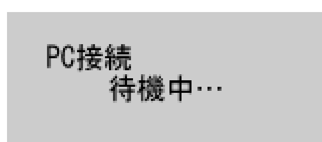
※ 実際の印刷では印刷品位を保つために、データ作成時の設定に関わらず、プリンタ本体で印字媒体に合わせて調整した設定値に変換されることがあります。詳細は巻末の「印刷時の設定について」をご覧ください。

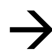
※ 旧バージョン形式の既存ファイルを開いたときは、上書き保存すると、新しいバージョン形式に変換されます。上書き保存したファイル(新バージョン形式の保存ファイル)を旧バージョンのソフトウェアで開くと、[カット長]の指定の長さが指定どおりでなくなり、正しく印刷できなくなりますのでご注意ください([カット長]の設定が[自動]に変換され印刷されます)。

このとき、プリンタにデータを送信する前に、[カット長]の設定を確認してください。設定どおりでない場合は「書式を設定する」を参照し、[カット長]の設定を変更してください。

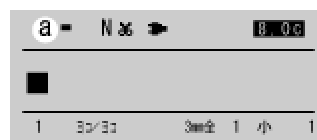
※ データ送信後にプリンタを使うときは、プリンタの受信可能状態を解除する必要があります。プリンタがデータ受信中でないことを確認し、[取消]キーを押して、データ受信状態を解除します。

文字入力画面になると、プリンタを操作できるようになります。





[取消]キーを押す



プリンタはデータ受信可能状態

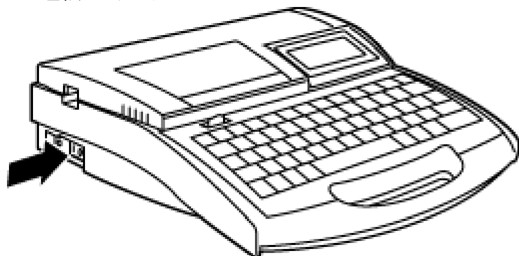
プリンタの文字入力画面
(データ受信可能状態の解除)

文字データを保存する

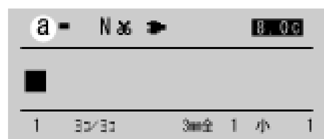
1．プリンタとコンピュータが、インタフェースケーブルで接続されていることを確認します。
接続されていない場合は「プリンタと接続する」をご覧ください。

2．プリンタの電源を入れ、ディスプレイが文字入力画面になったら、プリンタの［PC 接続］キーを押します。

電源を入れる



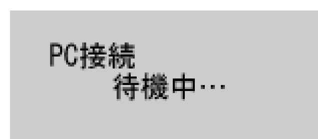
プリンタのディスプレイ表示



プリンタの文字入力画面



[PC 接続]キーを押す

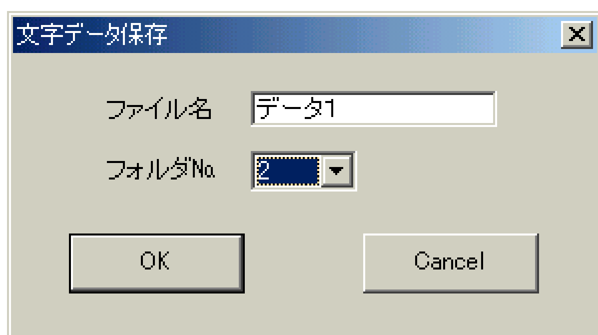


プリンタはデータ受信可能になった

3．アプリケーションソフトウェアで保存するファイルを開きます。
編集中でない既存のデータを保存するときは「基本的な使いかた」の「既存のファイルを開く」を参考に、ファイルを開いてください。

4．［リモート］メニューの［文字データ保存］を選択します。
［文字データ保存］ダイアログボックスが表示されます。

5．各項目を設定します。



［ファイル名］：
ファイル名を入力します。
入力ボックスをポイントすると、自動的に日本語入力（IME）が ON になります。

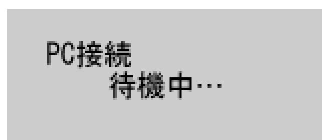
［フォルダ No.］：
データを保存するフォルダの番号（1～3）を選択します。

６．［OK］ボタンをクリックします。

指定したファイル名とフォルダ番号の情報と共に、保存指令プリンタにが送信されます。

- ［Cancel］ボタンをクリックすると、データの保存が中止され、データ入力画面に戻ります。

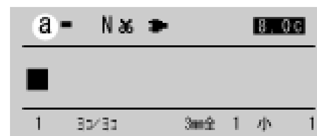
※ データ送信後にプリンタを使うときは、プリンタの受信可能状態を解除する必要があります。プリンタがデータ受信中でないことを確認し、[取消]キーを押して、データ受信状態を解除します。
文字入力画面になると、プリンタを操作できるようになります。



プリンタはデータ受信可能状態



[取消]キーを押す



プリンタの文字入力画面
（データ受信可能状態の解除）

印刷設定と印刷結果

カット長を指定したときの印刷結果について

本アプリケーションソフトウェアで作成したデータを印刷するとき、実際の印刷では印刷品位を保つために、データ作成時の設定に関わらず、プリンタ本体で印字媒体に合わせて調整した設定値に変換されることがあります。

印字媒体	書式変更画面での［カット長］の［指定］での長さ	実際の印刷結果（印刷時の設定）
記名板	6mm 以上 150mm 以下 （入力値： 600 以上 15000 以下）	［カット長］および［文字配置］は、データ作成時に設定したとおりに印刷します。
チューブ ラベル 4mm I.D. Strip 透明チューブ ラップアラウンドテープ	6mm 以上 8.5mm 未満 （入力値： 600 以上 850 未満）	［カット長］を自動に、［文字配置］を［センタリング］の設定に変換して印刷します。 （左右端余白は 2.0mm 以上になります）
	8.5mm 以上 150mm 以下 （入力値： 850 以上 15000 以下）	［カット長］および［文字配置］は、データ作成時に設定したとおりに印刷します。

※ ［カット長］の［指定］で 8.5mm 未満の長さに印刷されるのは、上記のとおり、印字媒体が［記名板］の場合のみとなります。

プリンタドライバの印刷設定の操作について

プリンタドライバの［印刷設定］画面を開き、印刷設定を変えないでください。万が一設定を変えても、本アプリケーションソフトウェアからの印刷には反映されません。